

日本画像学会インクジェット技術交流会 2017 年度イベント

アドバンス技術講習会

インクジェット技術の過去, 今, そしてこれから

～消えた技術, 実現しなかった応用. インクジェット進化論と Trivia～

講師: 藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社)

講師略歴:



1985 年 富士ゼロックス株式会社入社
 1985 年 電子技術研究所にて荷電偏向制御型(多値偏向)インクジェットの飛翔制御技術に従事
 1989 年 サーマルインクジェット(TIJ)の吐出メカニズムの研究を開始
 1995 年から研究, 技術・商品開発部門で, TIJ のヘッド設計, 駆動制御技術の研究・開発に従事
 2002 年からインクジェットシステム, インクジェット応用の研究・開発に従事
 2012 年から 3D プリンタ, データハンドリングの研究にも従事
 2016 年 ボクセルベースの新 3D データフォーマット FAV を慶応義塾大学と共同で策定・発表
 IS&T NIP32(2015) General Chair, Tokyo Chapter Director
 日本画像学会インクジェット技術部会主査, 国際交流委員長, 理事他

● アドバンス技術講習会内容

毎年 7 月に開催する日本画像学会技術講習会におけるインクジェット基礎講座の中で、「インクジェット方式の分類と特長, 課題と対応」として各種方式や今後のインクジェット技術の展開について説明しています。しかし時間の制約から既に使われなくなった方式や, 市場であまり使われていない方式についてはほとんど触れていません。また, インクジェットの登場以来, 技術の特徴を活かした様々な応用が提案されていますが, 市場に導入されていない応用も数多くあります。

本アドバンス技術講習会の「インクジェット技術の過去, 今, そしてこれから」では, 普段あまり話題に登場しないこれらのトピックスをインクジェットの歴史とともに振り返り, 方式や応用が提案された時代背景や消えた原因なども考えながら, 本講習会が今後のインクジェットの技術開発や応用へのヒントにつながることを期待します。(上記基礎講座の内容はほとんど省略します)

インクジェットに関するトリビア的な話題も多く盛り込みたいと思います。また, 現在ではあまり目にすることのない 1960-70 年代のインクジェットプリンタのカタログ, プリントサンプルも展示します。

講習会終了後, 東工大の食堂で講師と参加者が軽食+ドリンクをとりながら, インクジェット技術や 3D プリンタ技術について意見を交換する情報交換会を開催します。

講習会目次

1. インクジェット方式の分類と特徴, 歴史(新しい方式, 消えてしまった方式を中心に)
 - A1. インクジェットトリビア集 1
2. インクジェット技術の発展と進化論
 - A2. インクジェットトリビア集 2
3. インクジェット応用(企画倒れ, 消えた応用を中心に)
 - A3. インクジェットトリビア集 3

定員: 30 名(申し込み順*)

* inkjet-sig@isj-imaging.org へのメール到着順とします。

開催日時: 2017 年 8 月 31 日(木) 14:30-17:30

(情報交換会は 17:40-19:30 予定)

開催場所: 東京工業大学 蔵前会館 手島精一記念会議室
東急目黒線 大岡山駅
<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/>
(情報交換会は、会場近くの大学食堂で開催予定)

受付: 13:50 から会議室前で受付開始

参加費・支払い方法: ¥4,000
会場受付にて現金でお支払い下さい(振込み等は扱いません), 領収証あり.

情報交換会費用: ¥2,000 領収証あり

このイベントのインクジェット技術部会担当者: 藤井雅彦(富士ゼロックス)

● 参加申込み方法

メールタイトルを「IJ-SIG-EVENT-004 技術講習会申し込み」とし, ①お名前, ②インクジェット技術交流会会員番号(IJ-XXX), ③情報交換会への参加/不参加を記載して下記までメールで申し込んでください.

inkjet-sig@isj-imaging.org

● その他

定員に達し次第, インクジェット技術交流会のホームページや Facebook に[募集終了]を掲載しますが, 多少の時間差が生じることは了解願います. 申し込みをされた方には全員に, 参加可否をお知らせします.

キャンセルが生じ追加募集をする際は, 定員オーバーで参加できなかった方を優先します.